

2016年(平成28年)6月7日 火曜日

高校生スイーツ開発講座

今年も石巻ブランド作ろう

9月の発表に向け始動

地元高校生が石巻らしいスイーツの開発を目指す「商品開発高校生講座」の平成28年度第1回が1日、石巻市立桜坂高校の調理室で開かれた。本年度は市立桜坂、宮城水産、石巻工業の3校から約15人の生徒が参加。昨年度に考案したアイデアをもとに試作を重ね、9月の商品発表へ向けていく。

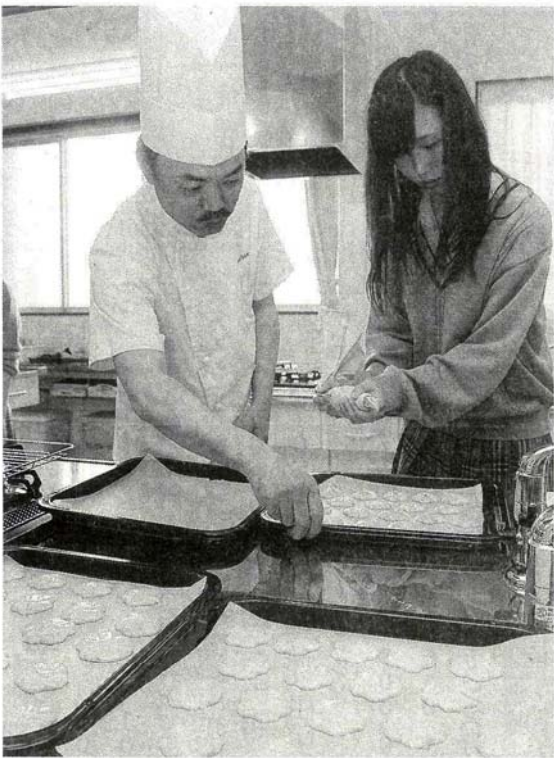
同講座はNPO法人グラウンドワーク三島

「静岡県三島市」が、住友商事「東京都中央区」の「東日本再生ユースチャレンジプログラム2016」の支援を受けて実施。いしのみきブランドのスイーツをつくらうをテーマに、昨年7月から商品開発や地域の歴史に関する講座、市場調査やアイデア考案などの実践教育を行っている。

本年度の初回となったこの日は、桜坂と宮城水産の生徒9人が参加。地元洋菓子店「フェヴリエ」オーナーの木村薫さんを講師に、昨年度に出されたアイデアである桜の形をした「桜坂マカロン」(仮称)と地元産の素材を使った3種類の「焼きプチドーナツ」(仮称)の試作と試食を行った。

初参加した宮城水産1年の小岩さくらさん(16)は「スイーツ作りは初めてで、ここで考えたアイデアが商品になると思うとワクワクする。石巻を知ってもらえる商品を作りたい」と話した。

今後は7月まで試作や販売方法などを検討。その後、石巻うまいもの協議会での試食会を実施し、9月に一つの商品に絞って発表する。来年1月までは販売会を催すほか、現在、出品先を調整しているという。



木村さん(左)のアドバイスを
受けて、生徒たちもスイーツ作
りに挑戦した